令和４年度　東京都内湾水生生物調査　９月鳥類調査　速報

●実施状況

令和４年９月 26 日に鳥類調査を実施した。天候は晴れで、気温 24.0～28.2℃、東寄りの風、風速 1.0～3.0m/sec であった。調査当日は大潮で、干潮が 11 時 20 分（39cm）、満潮は 17 時 22 分（200cm）であった（気象庁のデータ）。各地点の概況を下表に示す。

	葛西人工渚(東なぎさ)	森ヶ崎の鼻	お台場海浜公園
作業時刻	8:55-10:01	10:48-11:39	12:08-13:08
天候	晴	晴	晴
気温(℃)	24.0	26.1	28.2
風向	東	南東	南東
風速（m/sec）	1.0	3.0	3.0
備考	ヨシの面積が拡大。干潟にミズクラゲが多く打ち上げられていた。	西側の護岸で浚渫と思われる作業が行われていた。	第六台場にカワウが全くいない。波のうねりが大きかった。

●主な出現種等

	葛西人工渚(東なぎさ) ※沖合含む	森ヶ崎の鼻	お台場海浜公園
数が多かった鳥類上位２種	ウミネコ(961 羽) カワウ(670 羽)	カワウ(138 羽) ウミネコ(54 羽)	カワウ(80 羽) アオサギ(19 羽)
備考	・重要種として、10 種を確認。（チュウサギ、ヒクイナ、ダイシャクシギ、オオセグロカモメ、ミサゴ、等） ・干潟でカワウとカモメ類の群れが休息、サギ類の群れが採餌。チュウサギ１羽が混じっていた。 ・シギ・チドリ類はダイシャクシギ 1 羽とイソシギ２羽のみ。 ・ヨシ原でヒクイナの鳴き声。 ・猛禽類はミサゴとトビを確認。	・重要種として、7 種を確認。（オオセグロカモメ、ミサゴ、カワセミ、等） ・干潟でカワウとカモメ類が休息。カモメ類はユリカモメとウミネコ、セグロカモメ、オオセグロカモメの４種が見られた。 ・干潟でサギ類が採餌。 ・護岸付近でカワセミ 1 羽が採餌。 ・猛禽類はミサゴのオスメス２羽を確認。	・重要種として、6 種を確認。（ゴイサギ、トビ、等） ・カワウの個体数は少なく全体で 80 羽、第六台場は飛翔する２羽のみ。営巣は見られなかった。 ・サギ類はゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギの４種を確認。ゴイサギは体に幼綿羽（ようめんう）を残す幼鳥だが、第六台場で繁殖したと断定できる情報は得られなかった。 ・猛禽類はトビを確認。

●出現種と個体数

No.	目	科	種名	令和4年																								重要種 選定基準			
				5月								6月								9月											
				葛西人工渚(東なぎさ)				お台場海浜公園				葛西人工渚(東なぎさ)				お台場海浜公園				葛西人工渚(東なぎさ)				お台場海浜公園							
				範囲内	沖合	合計	森ヶ崎の鼻	第六台場	鳥の島	公園側	合計	範囲内	沖合	合計	森ヶ崎の鼻	第六台場	鳥の島	公園側	合計	範囲内	沖合	合計	森ヶ崎の鼻	第六台場	鳥の島	公園側	合計	文化財保護法	種の*1保存法	環境省*2 RL2020	東京都*3 RL2020 (区部)
1	カモ	カモ	カルガモ				2	2	2	1	5	19		19	1		4		4				6		13		13				
2			スズガモ	12		12			6		6	6		6																	留
3	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	7		7																									留
4	カツオドリ	ウ	カワウ	255	37	292	11	1141	284		1425	2300	2	2302	159	786	332	2	1120	668	2	670	138	2	71	7	80				
5	ペリカン	サギ	ゴイサギ																					2			2				VU
6			アオサギ	8		8	6	5	8		13	22	1	23	18	14	12	1	27	90		90	18	4	13	2	19				
7			ダイサギ	13		13	6					15	2	17	7	3			3	61		61	17		1		1				NT
8			チュウサギ									1		1						1		1								NT	NT
9			コサギ	10		10	5	1		3	4	29		29	7	5		1	6	27		27	2		6		6				VU
10		トキ	クロツラヘラサギ	2		2																							国内	EN	CR
11	ツル	クイナ	ヒクイナ	1		1														1		1								NT	CR
12			オオバン					1			1																				CR
13	チドリ	チドリ	コチドリ				2		1	1	2	1		1	2																CR
14			メダイチドリ				9																						国際		VU
15		ミヤコドリ	ミヤコドリ	20		20																									VU
16		シギ	タシギ	1		1																									VU
17			チュウシャクシギ	18		18	1																								VU
18			ダイシャクシギ																	1		1									CR
19			ホウロクシギ	1		1						1		1															国際	VU	CR
20			アオアシシギ	9		9																									NT
21			キアシシギ	23		23	1			6	6																				VU
22			ソリハシシギ	1		1																									VU
23			イソシギ	1		1	5		4		4				1			3	3	2		2	3	2	5	1	8				VU
24			キョウジョシギ	13		13	3	5	1	3	9																				VU
25			ハマシギ	1		1																								NT	VU
26		カモメ	ユリカモメ	440		440																	15								
27			ウミネコ	58	21	79			1	2	3	632	123	755	26		3	1	4	819	142	961	54		1		1				留
28			セグロカモメ									1		1									5								
29			オオセグロカモメ									23	29	52						180		180	2							NT	
30			コアジサシ	123		123									161															VU	EN
31			アジサシ	45		45																									
32	タカ	ミサゴ	ミサゴ				1						1	1	1						1	1	2							NT	EN
33		タカ	トビ				1	1			1				2					1		1		1	1		2				NT
34	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ																				1								VU
35	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	1		1	5								1					2		2	3		2		2				
計9目14科35種				23 種	2 種	23 種	14 種	7 種	8 種	6 種	12 種	12 種	6 種	13 種	12 種	4 種	4 種	5 種	7 種	12 種	3 種	13 種	13 種	5 種	9 種	3 種	10 種	0 種	3 種	8 種	27 種

※種の分類・配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会,2012)に従った。

*1　種の保存法：国際=国際希少野生動植物種、国内=国内希少野生動植物種

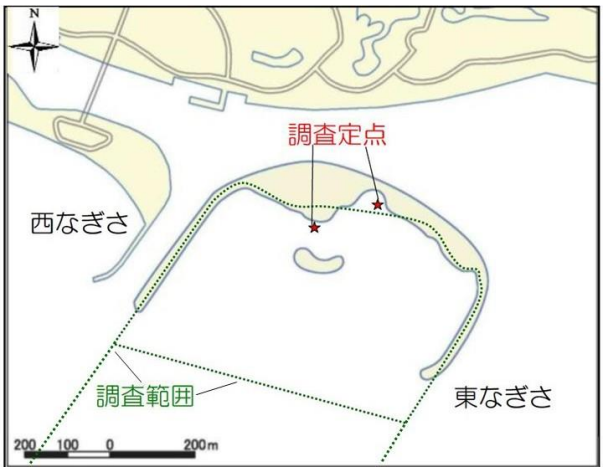
*2　環境省レッドリスト2020：CR=絶滅危惧IA類、EN=絶滅危惧ⅠB類、VU=絶滅危惧Ⅱ類、NT=準絶滅危惧、DD=情報不足

*3　東京都レッドリスト(区部)2020年版：CR=絶滅危惧IA類、EN=絶滅危惧ⅠB類、VU=絶滅危惧Ⅱ類、NT=準絶滅危惧、DD=情報不足、留=留意種

＜葛西人工渚(東なぎさ)＞

〇調査地点の状況

引き潮で、干潟は広く干出していた。



〇出現種(シギ・チドリ類)

渡りの時期であるが、シギ・チドリ類は種数・個体数とも少なく、ダイシャクシギ 1 羽とイソシギ 2 羽のみであった。東京都レッドリストでダイシャクシギは絶滅危惧 IA 類(CR)に、イソシギは絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。

〇出現種(ミサゴ、トビ)

沖合の杭にとまって休息するミサゴと、干潟上空を旋回するトビが確認された。ミサゴは環境省レッドリストで準絶滅危惧(NT)、東京都レッドリストで絶滅危惧 I B 類(EN)に、トビは東京都レッドリストで準絶滅危惧(NT)指定されている。

〇出現種(ヒクイナ) ヨシ原の中から鳴き声が数回聞かれた。本種は環境省レッドリストで準絶滅危惧(NT)に、東京都レッドリストで絶滅危惧 IA 類(CR)に指定されている。

〇干潟利用状況

干潟でカワウとカモメ類の群れが休息、サギ類が採餌していた。カモメ類はウミネコとセグロカモメ、オオセグロカモメの 3 種で、ウミネコは東京都レッドリストで留意種に、オオセグロカモメは環境省レッドリストで準絶滅危惧(NT)に指定されている。サギ類はアオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギの 4 種で、ダイサギは東京都レッドリストで準絶滅危惧(NT)に、チュウサギは環境省レッドリストと東京都レッドリストで準絶滅危惧(NT)に、コサギは東京都レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。

休息するウミネコ（矢印以外の鳥）、オオセグロカモメ、カワウ

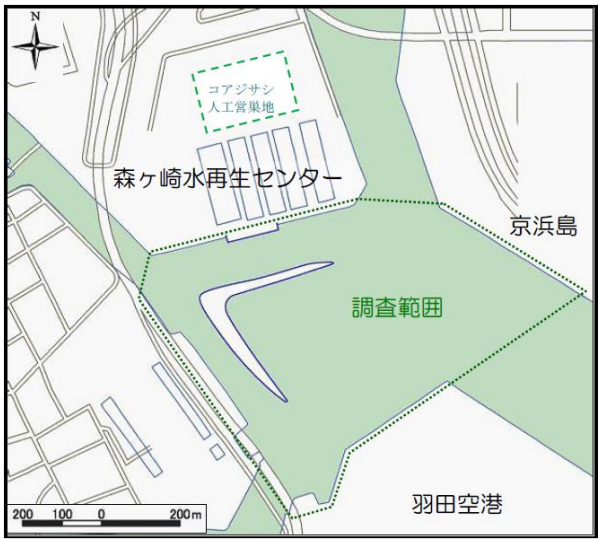
干潟で採餌するダイサギ、コサギ、アオサギの群れ

チュウサギ

＜森ヶ崎の鼻＞

〇調査地点の状況

最大干潮時刻だが、干潟は比較的狭かった。



〇出現種（カモメ類）

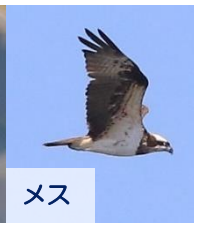
4 種のカモメ類が確認された。ウミネコ、セグロカモメ、オオセグロカモメは干潟で休息し、ユリカモメは干潟の水際で採餌していた。

〇出現種（シギ・チドリ類）

護岸でイソシギ 3 羽が確認された。干潟を利用するシギ・チドリ類は見られなかった。

〇出現種（ミサゴ）

杭にとまって羽繕いする 1 羽と、上空を飛ぶ 1 羽が確認された。



〇出現種（カワセミ）

鳴き声が聞かれた後、魚をくわえて調査範囲外に飛び去る 1 羽が確認された。本種は東京都レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定されている。

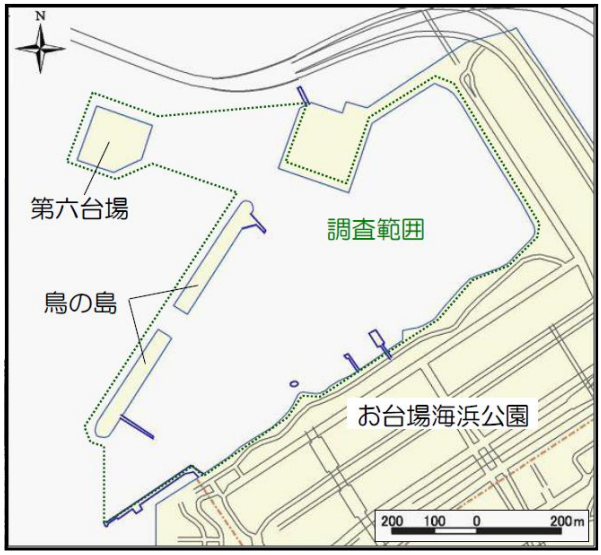
〇干潟利用状況

カワウとウミネコ、セグロカモメ、オオセグロカモメの群れが休息していた。ユリカモメは水際で採餌していた。サギ類はアオサギ、ダイサギ、コサギの 3 種が水際付近で採餌していた。

＜お台場海浜公園＞

〇調査地点の状況

第六台場・鳥の島ではカワウの営巣は終了していた。



〇出現種（カワウ）

第六台場、鳥の島いずれも繁殖活動は終了しており、使用中の巣は見られなかった。個体数は当地としては非常に少なく合計 80 羽で、うち第六台場では樹上にいる個体は 0 羽、飛翔個体が 2 羽のみであった。

〇出現種（サギ類）

ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギの 4 種が、第六台場や鳥の島、お台場海浜公園周辺で記録された。第六台場で確認された 2 羽のゴイサギ幼鳥には幼綿羽（ようめんう）が見られ、巣立ちから間もない状態と推測されたが、お台場で繁殖した個体かは分からなかった。ゴイサギは東京都レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定されている。

ゴイサギ

アオサギ

ダイサギ

コサギ

〇出現種（トビ）

第六台場上空を飛翔する 1 羽と、鳥の島で木にとまる 1 羽が見られた。

〇出現種（カルガモ）

鳥の島の浜辺でカワウと共に休息する 13 羽の群れが見られた。

浜辺で休息するカルガモ（やや大型の３羽はカワウ）

＜その他＞

〇ウミネコの繁殖

　砂町運河でウミネコは確認されず、構造物上には巣の痕跡も見られなかった。今季の繁殖は終了したと考えられる。なお、京葉線の高架に、87 羽のカワウと 2 羽のアオサギがとまっているのが確認された。カワウは令和 2 年 9 月、令和 3 年 9～11 月、令和 4 年 6～9 月の調査でも高架にとまる群れが確認されている。

ウミネコが営巣する構造物

高架にとまるカワウ

＜トピックス＞

－ カワウとサギ類の採餌行動 －

森ヶ崎の鼻では、干潟で休息していたカワウの群れが浅瀬に移動して採餌を始めた。その後、ダイサギとアオサギの群れがカワウを追うように護岸に集まり、小魚を捕る様子が観察された。

浅瀬で採餌するカワウと護岸に集まったサギ類

潜水を繰り返すカワウと護岸から採餌するダイサギ